

平成20年3月期 第1四半期連結決算概要

1. 業績概要

注: 億円未満切捨て
(単位: 億円)

項目	前年第1四半期 (H18. 4~H18. 6)	当第1四半期 (H19. 4~H19. 6)	増減
売上高	1,516	1,603	86
営業利益	61	(87) 79	(26) 18
金融収支	△ 12	△ 13	0
持分法投資損益	1	3	2
その他営業外損益	5	6	1
経常利益	55	(84) 76	(29) 21
特別損益	0	1	2
四半期純利益	32	(50) 45	(18) 13

1株当たり四半期純利益	3円19銭	4円51銭	1円32銭
-------------	-------	-------	-------

(注) ()内は減価償却制度変更の影響を除外した場合

項目	前年第1四半期 (H18. 4~H18. 6)	当第1四半期 (H19. 4~H19. 6)	増減
為替レート(円/\$)	114.5	120.8	6.3円 安
ナフサ価格(円/KL)	48,900	*1 57,800	8,900
豪州炭価格(円/t)*2	8,473	9,965	1,492

*1 見込値、*2 CIF価格

2. セグメント別 売上高・営業利益

(単位: 億円)

項目	セグメント	前年第1四半期 (H18. 4~H18. 6)	当第1四半期 (H19. 4~H19. 6)	増減
売上高	化成品・樹脂	490	541	51
	機能品・ファイン	208	218	9
	建設資材	493	490	△ 2
	機械・金属成形	250	249	0
	エネルギー・環境	64	91	27
	その他	10	10	0
	合計	1,516	1,603	86
営業利益	化成品・樹脂	7	(21) 19	(14) 12
	機能品・ファイン	24	(29) 28	(4) 3
	建設資材	14	(19) 16	(5) 1
	機械・金属成形	9	(9) 7	(0) △ 1
	エネルギー・環境	4	(6) 6	(1) 1
	その他	1	(1) 1	(0) 0
	合計	61	(87) 79	(26) 18

カーボナツム/ナイロン/合成ゴム 販売価格上昇、為替換算影響
医薬品原体・中間体 販売数量増
セメント・生コン出荷減
石炭数量増、販売価格上昇

カーボナツム スプレッド(製品と原料の値差)改善
医薬品原体・中間体 販売数量増
廃棄物処理収入増

(注) ()内は減価償却制度変更の影響を除外した場合

3. 財政状態

(単位: 億円)

項目	前期末 (H19. 3末)	当第1四半期 (H19. 6末)	増減
総資産	7,148	7,279	131
有利子負債 (純有利子負債)	3,200 (2,987)	3,263 (2,983)	63 △ 3
純資産	1,951	1,985	33

現・預金、たな卸資産増
社債発行、借入金返済
四半期純利益増、配当金支払、為替換算調整勘定増

【参考】業績予想

平成19年5月10日に発表した平成20年3月期(中間期)業績予想数値を修正しております。

(単位: 億円)

項目	平19年3月期 (中間期)	平20年3月期 (中間期)	増減
売上高	3,106	3,285	179
営業利益	178	(186) 170	(8) △ 8
経常利益	168	(146) 130	(△22) △ 38
中間純利益	89	(69) 60	(△20) △ 29

平20年3月期(前回) 中間期(H19. 5. 10発表)	増減
3,195	90
150	20
105	25
45	15

平成19年5月10日に発表した平成20年3月期(通期)業績予想に変更はありません。

(単位: 億円)

項目	平19年3月期 (通期)	平20年3月期 (通期)	増減
売上高	6,556	6,680	124
営業利益	468	(483) 450	(15) △ 18
経常利益	431	(403) 370	(△28) △ 61
当期純利益	220	(230) 210	(10) △ 10

(注) ()内は減価償却制度変更の影響を除外した場合



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成 19年 8月 3日

上場会社名 宇部興産株式会社 上場取引所 東証一部・福証
 コード番号 4208 URL <http://www.ube.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 浩章
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 坂本 靖子 TEL (03)5419-6110

(百万円未満四捨五入)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	160,311	5.7	7,971	30.4	7,680	38.6	4,544	41.6
19年3月期第1四半期	151,659	13.3	6,111	△6.0	5,540	△10.2	3,209	4.6
19年3月期	655,608	—	46,862	—	43,154	—	22,013	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	4	51	4	31
19年3月期第1四半期	3	19	3	04
19年3月期	21	88	21	04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第1四半期	727,983	198,501	24.2	174	86
19年3月期第1四半期	702,836	169,260	21.5	149	90
19年3月期	714,871	195,196	24.1	171	49

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日) 【参考】

平成19年5月10日に発表した業績予想数値を修正しております。

当該内容につきましては、本日付で「中間業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますので、ご参照下さい。

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	328,500	5.7	17,000	△4.7	13,000	△22.6	6,000	△32.7	5	96
通期	668,000	1.9	45,000	△4.0	37,000	△14.3	21,000	△4.6	20	87

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により予想と大きく異なる場合もありますことをご承知願います。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の事業環境は、ナフサ、石炭などの原燃料価格高騰や昨年秋口以降続くデジタル市場の在庫調整などのマイナス要因がありましたが、アジア・国内経済の堅調さに支えられ、化成品・樹脂製品などの市況は上昇しました。

このような状況下、当社の業績は前年同四半期に比べ増収で、利益についても営業、経常、四半期純利益とも増益となりました。

売上高は、原燃料高に対する価格転嫁の進展や円安の影響による海外取引高の増加などによる化成品・樹脂セグメントの増収及び石炭販売量の増加などによるエネルギー・環境セグメントの増収などにより、前年同四半期比86億円(5.7%)増加し1,603億円となりました。営業利益は、主要製品のスプレッド(製品と原料の値差)拡大などによる化成品・樹脂セグメントの増益などにより、前年同四半期比18億円(30.4%)増の79億円となりました。この結果、経常利益につきましては前年同四半期比21億円(38.6%)増の76億円に、四半期純利益につきましては、前年同四半期比13億円(41.6%)増の45億円となりました。

なお、当社の第1四半期は、化成品・樹脂及び機能品・ファイン製品の製造工場の定期修理が第1四半期に集中すること、建設資材セグメントの主力製品であるセメントの需要が下期に偏ること、機械製品の売上計上が年度末に集中することなどの季節要因による影響を受け、他の四半期に比べ低水準となる傾向にあります。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

① 化成品・樹脂

売上高は、カプロラクタム、ナイロン樹脂、ポリブタジエン(合成ゴム)の販売価格上昇や円安の影響による海外取引高増加などにより、前年同四半期比51億円(10.5%)増の541億円となりました。営業利益につきましては、カプロラクタムのスプレッド拡大などにより前年同四半期比12億円(180.5%)増の19億円となりました。

② 機能品・ファイン

売上高は、機能性材料製品の一部がデジタル市場の在庫調整の影響を受けましたが、医薬品原体・中間体の出荷好調などにより、前年同四半期比9億円(4.6%)増の218億円となりました。営業利益につきましては、医薬品原体・中間体の数量要因などにより、前年同四半期比3億円(15.9%)増の28億円となりました。

③ 建設資材

売上高は、首都圏を中心とした生コンの出荷減少などにより、前年同四半期比2億円(0.4%)減の490億円となりました。営業利益につきましては、生コンの数量要因等による減益をセメント製造工程における廃棄物処理の拡大などによる増益が補い、前年同四半期比1億円(12.9%)増の16億円となりました。

④ 機械・金属成形

売上高は、機械部門については、堅型ミルや自動車産業向けダイカストマシン等の機械製品の減収を、材料価格転嫁が進んだ製鋼品などでの増収が相殺し、アルミホイール部門もほぼ前年同四半期並みであったことから、セグメント全体でも前年同四半期並み(0.2%減)の249億円となりました。営業利益につきましては、アルミホイール部門は、国内事業の出荷増や北米事業の諸費用削減などにより改善しましたが、機械製品の減収による影響もあり、前年同四半期比1億円(16.9%)減の7億円となりました。

⑤ エネルギー・環境

売上高は、販売炭の販売量及び預り炭数量が増加したことに加え、販売炭価格も上昇したことなどにより前年同四半期比27億円(43.0%)増の91億円となりました。営業利益につきましては、石炭預り数量増等により前年同四半期比1億円(23.3%)増の6億円となりました。

⑥ その他

売上高、営業利益ともそれぞれ前年同四半期並みで、10億円、1億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は前期末に比べ、受取手形及び売掛金が減少する一方、現金及び預金、たな卸資産が増加したため流動資産が107億円増加し、また、有形固定資産の増加などにより固定資産が22億円増加した結果、131億円増加し7,279億円となりました。

負債については、普通社債を発行したことにより有利子負債が63億円増加したこと並びに支払手形及び買掛金が11億円増加したことなどにより、98億円増加し5,294億円となりました。純資産は為替換算調整勘定が33億円増加したことなどにより1,985億円となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当四半期より、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成19年3月31日現在)		当第1四半期末 (平成19年6月30日現在)		増減 金 額	前第1四半期末 (平成18年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%			%
I 流 動 資 産	286,991	40.1	297,742	40.9	10,751	271,906	38.7
現金及び預金	21,694		28,379		6,685	18,910	
受取手形及び売掛金	161,581		155,589		△ 5,992	145,471	
たな卸資産	79,185		88,594		9,409	86,881	
その他	24,531		25,180		649	20,644	
II 固 定 資 産	427,876	59.9	430,153	59.1	2,277	430,923	61.3
有形固定資産	359,886		362,427		2,541	358,788	
無形固定資産	4,050		4,126		76	4,633	
投資その他の資産	63,940		63,600		△ 340	67,502	
III 繰 延 資 産	4	0.0	88	0.0	84	7	0.0
資 産 合 計	714,871	100.0	727,983	100.0	13,112	702,836	100.0
(負 債 の 部)							
I 流 動 負 債	314,833	44.0	314,406	43.2	△ 427	303,086	43.1
支払手形及び買掛金	104,351		105,487		1,136	101,913	
短期借入金	144,658		141,834		△ 2,824	134,912	
一年以内に償還予定の社債	1,750		650		△ 1,100	8,460	
その他	64,074		66,435		2,361	57,801	
II 固 定 負 債	204,842	28.7	215,076	29.5	10,234	230,490	32.8
社債	970		16,440		15,470	1,410	
転換社債	19,898		19,898		—	19,898	
長期借入金	152,740		147,534		△ 5,206	172,983	
退職給付引当金	7,486		7,406		△ 80	9,316	
その他	23,748		23,798		50	26,883	
負 債 合 計	519,675	72.7	529,482	72.7	9,807	533,576	75.9
(純 資 産 の 部)							
I 株 主 資 本	158,062	22.1	157,974	21.7	△ 88	139,214	19.8
資本金	58,399	8.2	58,399	8.0	—	58,399	8.3
資本剰余金	28,362	4.0	28,362	3.9	—	28,295	4.0
利益剰余金	71,676	10.0	71,605	9.8	△ 71	52,858	7.5
自己株式	△ 375	△0.1	△ 392	△0.0	△ 17	△ 338	△0.0
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	14,531	2.0	18,001	2.5	3,470	11,634	1.7
その他有価証券評価差額金	7,724	1.1	7,799	1.1	75	10,544	1.5
繰延ヘッジ損益	△ 97	△0.0	△ 32	△0.0	65	13	0.0
再評価積立金	332	0.0	324	0.0	△ 8	357	0.1
為替換算調整勘定	6,572	0.9	9,910	1.4	3,338	720	0.1
III 新 株 予 約 権	78	0.0	104	0.0	26	—	—
IV 少 数 株 主 持 分	22,525	3.2	22,422	3.1	△ 103	18,412	2.6
純 資 産 合 計	195,196	27.3	198,501	27.3	3,305	169,260	24.1
負 債 純 資 産 合 計	714,871	100.0	727,983	100.0	13,112	702,836	100.0

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期	当第1四半期	増減	前 期
		(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売 上 高		151,659	160,311	8,652	655,608
売 上 原 価		126,261	132,273	6,012	527,990
売 上 総 利 益		25,398	28,038	2,640	127,618
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		19,287	20,067	780	80,756
営 業 利 益		6,111	7,971	1,860	46,862
営 業 外 収 益		3,212	3,375	163	13,021
営 業 外 費 用		3,783	3,666	△ 117	16,729
経 常 利 益		5,540	7,680	2,140	43,154
特 別 利 益		101	216	115	5,957
特 別 損 失		145	51	△ 94	13,108
税金等調整前四半期(当期)純利益		5,496	7,845	2,349	36,003
法 人 税 等		2,300	3,359	1,059	12,596
少 数 株 主 利 益		△ 13	△ 58	△ 45	1,394
四 半 期 (当 期) 純 利 益		3,209	4,544	1,335	22,013

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	化成品・ 樹脂	機能品・ フィン	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギー・ 環境	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	49,011	20,840	49,300	25,030	6,405	1,073	151,659	—	151,659
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,843	377	794	423	1,743	199	5,379	(5,379)	—
計	50,854	21,217	50,094	25,453	8,148	1,272	157,038	(5,379)	151,659
営業費用	50,152	18,798	48,672	24,530	7,658	1,103	150,913	(5,365)	145,548
営業利益	702	2,419	1,422	923	490	169	6,125	(14)	6,111

当第1四半期（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

（単位：百万円）

	化成品・ 樹脂	機能品・ フィン	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギー・ 環境	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	54,181	21,808	49,094	24,983	9,161	1,084	160,311	—	160,311
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,941	269	789	158	1,948	221	5,326	(5,326)	—
計	56,122	22,077	49,883	25,141	11,109	1,305	165,637	(5,326)	160,311
営業費用	54,153	19,274	48,277	24,374	10,505	1,138	157,721	(5,381)	152,340
営業利益	1,969	2,803	1,606	767	604	167	7,916	55	7,971